

令和5年度 事業計画書

(2023年4月1日～2024年3月31日まで)

1. アーカイブ事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関する作品や資料の収集、保存及びその公開を行う。また、活動に関わる諸テーマについて、独自で調査、研究を実施すると共に、国内外機関・個人との共同研究等も行う。【定款 第4条(1)、(3)、(6)】

- ・ 田中一光アーカイブを京都市内に移転し、研究者等の利用を促進する。
- ・ コレクション・データベースの精緻化と利用促進を図る。
- ・ ポスター高精細デジタル画像化は、将来的にポスターアーカイブ全作品のデータ化を目標に継続的に進める。
- ・ ポスターアーカイブは、寄贈の希望があった場合、アーカイブとして受け入れが妥当かを財団内で検討のうえ、寄贈を受け入れる。

(1) 田中一光アーカイブ

CCGA館内に収蔵していた田中一光アーカイブを京都市内に移転したうえで、資料整理とコレクション・データベースのメタデータの精緻化を進め、研究者等の利用を促進する。

(2) ポスターアーカイブ

国内外の現代グラフィックデザインの秀作の収集活動を継続する。寄贈受け入れ予定作家は、永井一正氏、宇野亞喜良氏等。

現在、国内124作家、海外120作家、計244作家、23,195作品を収蔵している。

(3) タイラーグラフィックス・アーカイブ

CCGAでの展示事業は終了したが、他美術館等から要請があった場合は、これまでどおり作品貸出を行う。

(4) ポスター高精細デジタル画像化

ポスター作品の高精細デジタル画像化を、計画的に継続する。

(5) 作品データベースの活用

文化資源デジタルアーカイブ化の動向を踏まえ、DNP文化振興財団コレクション・データベース <https://collection.dnpfcp.jp/> の精緻化と利用促進をはかる。

2. 展示事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とする優れた作品等の展示活動を行う。必要に応じて国内外機関、個人との共同企画を行い、また、展示施設の管理運営を行う。【定款 第4条(2)、(6)】

下表に従って、ギンザ・グラフィック・ギャラリーは計7回、京都d d dギャラリーは、計5回の展覧会を開催する。

・ギンザ・グラフィック・ギャラリー展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第394回 TDC 2023	3/31 (金) ~4/28 (金)
第395回 横尾忠則展	5/15 (月) ~6/30 (金)
第396回 小杉幸一展	7/11 (火) ~8/21 (木)
第397回 ステファン・サグマイスター展	8/30 (水) ~10/23 (月)
第398回 日本のアートディレクション展2023	11/1 (水) ~11/30 (木)
第399回 大原大次郎展	12/11 (月) ~2024/1/31 (水)
第400回 YOSHIROTTEN 展	2/9 (金) ~3/23 (土)

・京都d d dギャラリー展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第236回 秋山伸展	3/21 (火・祝) ~5/21 (日)
第237回 葛西薫展	5/31 (水) ~7/30 (日)
第238回 ソール・スタインバーグ展	8/9 (水) ~10/15 (日)
第239回 筒井大介展	10/25 (水) ~2024/1/7 (日)
第240回 MIRROR/MIRROR カナダ・日本現代版画展	1/17 (水) ~3/17 (日)

・インターネットでの情報発信の強化

財団公式ウェブサイトでの展覧会情報掲載に加えて、プレスリリース配信サービスや、展覧会特設ページ、SNSギャラリー公式アカウントでの情報発信を継続し、展示事業の認知度向上、及び来場促進を図る。

3. 教育・普及事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関するセミナーの開催、刊行物発行やインターネット等を通じた情報提供等の教育・普及活動の実施。【定款 第4条(4)】グラフィックに関する知識・関心を、一般の方々に広げることがを目的に、講演会、対談、ワークショップ、図書等の刊行、インターネットを通じた情報提供を行う。

- ・ g g g B o o k s 3点、その他図録2点を発行予定。
アニュアルレポートは、8月に発行予定。
g g g B o o k s は、電子書籍版の発行も継続する。
- ・ オンラインを活用した情報発信を継続する。
- ・ 新型コロナの状況を考慮しながら、リアルでのギャラリートーク・講演会を再開する。

・ 図書の刊行

展覧会と連動して、作品集『g g g B o o k s』3点（発行予定作家：小杉幸一、大原大次郎、YOSHIROTTEN）を発行する。

展覧会図録2点（発行予定作家：横尾忠則、ステファン・サグマイスター）を発行する。

・ アニュアルレポート発行

『Graphic Art & Design Annual 2022』を8月に発行する。あわせて次年度刊行予定の2023年版の企画・編集を開始する。

・ ギャラリートーク

g g gで、リアルでのギャラリートーク・講演会を再開する。なお、YouTube 財団公式チャンネルでのギャラリートーク等の動画配信は、引き続き行う。

・ オンラインを活用した情報発信

Twitter、Instagram のギャラリー公式アカウントを用い、展覧会やグラフィック文化の魅力を伝える動画、画像、記事などのオリジナル・コンテンツを配信する。なお、YouTube 財団公式チャンネルのオリジナル・コンテンツとして注目のクリエイターによる対談の音声番組シリーズについては、配信を継続する。

4. 国際交流事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした国際交流を行う。【定款第4条(5)】

- ・ 国際交流基金に協力し、同基金拠点にてスポーツポスター展巡回を継続。
- ・ 国際交流基金ケルン日本文化会館との共催で、ケルンの同基金拠点で財団の企画による日本のポスター展「食のデザイン」展を開催する。
- ・ ドイツ在住デザイナーであるジャンピン・ヘ氏と協力し、ベルリンのギャラリーで「食のデザイン」展の巡回および「福田繁雄」展開催に協力する。
- ・ デザイナーの国際組織である国際グラフィック連盟（AGI）日本事務局サポートの一環としてAGI総会に参加し、海外作家との情報交換を行う。

・「食のデザイン」展

国際交流基金ケルン日本文化会館との共催で、同会館を会場に、令和5年1月13日～4月15日の会期で、食と人間の関係を表現したデザイナー23名、日本のポスター50点による展覧会を開催する。また、ドイツ在住のデザイナーであるジャンピン・ヘ氏が運営するギャラリー、CVA（ベルリン視覚芸術センター）にて、巡回展を開催する予定。

・「スポーツ・グラフィック」展

国際交流基金に協力して、スポーツに関連した日本の現代ポスターの巡回展を各地で開催中。令和3年7月にロンドンの日本大使館、10月に国際交流基金シドニー日本文化センター、令和4年9月にパリ日本文化会館にて開催し、令和5年4月には国際交流基金トロントにて開催する。

・AGI総会

令和5年9月にニュージーランドにて開催が予定されているAGI総会に、日本人会員事務局として財団職員を派遣する。

この他、世界各国作家との交流及びグラフィックデザイン界の情報収集を、引き続き行う。

5. 研究助成事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした芸術文化活動に対する顕彰及び助成。【定款 第4条 (7)】

- ・グラフィック文化に関する学術研究助成を行う。
- ・CCGAが立地する福島県須賀川市で開催される田善顕彰版画展への協賛を継続する。

・グラフィック文化に関する学術研究助成

募集テーマ：

A部門 グラフィックデザイン、グラフィックアート全般をテーマとする学術研究

B部門 グラフィック文化に関するアーカイブをテーマとする研究

募集期間：令和5年4月1日～6月16日まで

助成対象：研究機関に在籍する研究者・大学院生・学芸員等及びそれに準じる研究能力のある者。

選考： 一次審査（申請書類による書類審査）、二次審査（9月開催予定の審査委員会）により、令和5年度採択研究を10件程度選考する。また、令和4年度採択研究のうち継続助成を希望する研究についても、継続助成の可否を審査（書類審査）する。

スケジュール：

- 4月 募集開始
- 6月 応募締め切り
- 7～8月 一次審査
- 9月 二次審査
- 10月 令和5年度審査結果の発表
- 12月 継続助成の審査、助成金の交付

・福島県須賀川市で開催される文化事業への協賛（予定）

対象	主催	年月	金額	備考
第34回田善顕彰版画展へ協賛	須賀川商工会議所青年部	2024/2	50,000円	須賀川出身の江戸期の銅版画家、亜欧堂田善顕彰を目的とする、須賀川市内小中学生対象の版画コンクール。例年継続。

以上